

第6回 自主勉強会議事録（に、代えます）

日 時：2013年1月14日 13:00～16:00

場 所：木岐奥現地～公民館

出席者：小坂、鍛冶（美波町）泉尾（タチバナコンサルタント）

泉、喜多、網田、中山、中飯、松田、高田、竹内、内野（木研）

美波事前復興住宅計画（農山漁村体験施設計画）WG 木造研究会

2013/01/14 計画予定地において予定施設の概要がある程度決定しました。

実施計画としての目的は助成金補助の関係で農山漁村体験施設計画として考えていかなければなりません。施設としては復興住宅に転用できるような形でできれば木活協との整合性があり、ひとつのモデルとして提案できるのではないかと思います。今日は道路計画や施設の配置ができました。別紙にて敷地配置図を送ります。計画コストとして総額7000万のうち道路整備に1500万施設に5000万設計500万とおきました。あくまで概算です。WGが考えなければいけないのが建築施設です。農山漁村体験施設の条件では管理施設兼共同調理場と宿泊施設(10名)2棟を想定しました。管理施設兼共同調理場が2000万、宿泊施設1500万*2の概算です。管理施設兼共同調理場では、管理人1名が宿直事務スペースと、調理室(薪ガス両方使える要望有)、そして30名(子供15~20)ほどが食事ができる集会スペースとWcぐらいの規模で120~130㎡です。被災時の仮設住宅やベース基地になればよいと思います。宿泊施設(10名)は「講のすまい」を例として2戸1の共同住宅(シェアハウス一人暮らしまたは夫婦2組)を想定し、戸建て復興住宅(3~4人家族)にもなりうるプランで考えてほしいと思います。浴室、便所、簡易台所、を含めて100㎡程度ですね。これらの条件を踏まえて次回WGにそれぞれのプランを提案していただきたいです。なにぶん斜面敷地なので計画しにくいというえ予算もございません。ですが皆さんのアイデアを結集したいと思います。

実務WGリーダー 中山茂